

専門領域『音楽』について

【音楽専門領域で学ぶ内容】

下記（１）～（３）に大別することができます。所属する学生はこれらを横断的に学んでいきます。

（１）音楽科教育

音楽教育の研究や実践は「人と音楽との関わり」を基盤とし、「人はなぜ、どのように音楽をするのか」あるいは「人は音楽を通して何を考え、行動するのか」を捉える学際的な分野です。幅広い視野を養いながら、社会や学校教育において音楽が果たす役割について考えていきます。

また、学校見学や児童・生徒との関わりを通して教育現場についての理解を深め、教育実習に向けて「教材研究」「授業案作成」「指導法」などの実践的な技術を身につけます。関連科目には「中等教科教育法（音楽）」等があります。なお、「教育実地研究」「スクールデー実践（A）」は専門領域クラスで授業を行います。

（２）音楽実技

音楽実技には「作曲」「器楽」「声楽」「合唱」「指揮法」があり、それら全てを履修します。

- ・「作曲」は（３）の「音楽理論」「音楽学」を学んだ上で、それを生かした表現や技法を模索します。
- ・「器楽」はピアノを中心としますが、現在の学校音楽教育に欠かせない日本の楽器やリコーダーの授業もあります。楽器を通して音楽のあらゆる要素の理解を深めていきます。
- ・「声楽」は発声法の習得から始まり、芸術歌曲の理解と歌唱法、指導法を探求していきます。
- ・「合唱」は音楽の歴史を学びながら、アンサンブルの意義や練習方法を体得していきます。
- ・「指揮法」は指揮の基本を学び、教育現場における合唱や合奏のアンサンブルの指導に備えます。

（３）音楽理論・音楽学

- ・「音楽理論」は「音」から「音楽」への成り立ちを理論的にたどっていきます。
- ・「音楽学」には広範な領域が含まれますが、当領域ではまず「音楽史」を学び、音楽の歴史の変遷を見つめつつ、世界の様々な音楽のあり方やスタイルに触れていきます。

【卒業研究】

「音楽専門領域」では3年次秋学期以降、「論文」と「実技」の2つのゼミに所属してそれぞれについて深めていくことになります。

【スタッフ】

今年度の音楽専門領域の授業は下記の専任教員と非常勤講師で担当しています。

【専任教員】（五十音順）	【専門分野】	担当授業
伊藤 裕来	【声 楽】	声楽、声楽演習、合唱
小川 昌文	【音楽教育学】	中等教科教育法（音楽）
金光 真理子	【音楽学・民族音楽学】	音楽史概説
河野 克典	【声 楽】	声楽、声楽演習、合唱
島田 広	【作 曲】	ソルフェージュ・作曲法
中嶋 俊夫	【音楽教育】	中等教科教育法（音楽）
森野 かおり	【器 楽】	ピアノ、ピアノ演習
[非常勤講師]		
大瀧 郁彦	【器 楽】	ピアノ
郷司 雅子	【邦 楽】	器楽合奏Ⅱ [和楽器]
川端 りさ	【器 楽】	器楽合奏Ⅰ [リコーダー] *
宮松 重紀	【指 揮】	指揮法